

実験開始前・実験後説明文

実験前

本日はご参加くださりありがとうございます。本実験では、あなたには耳にヘッドフォンをつけていただき被験者としてアイデアをリストアップするテストをしてもらいます。実験の様子はビデオカメラによって撮影されます。

実験終了後には、簡単なアンケートに答えてもらいます。

測定されたデータは、個人情報削除の上で解析し、施設可能な場所にて厳重に保管します。なお、測定されたデータは、専門分野の国内学会、国際会議、並びに国内外の専門雑誌に研究成果として公表することがあります。この場合にも個人情報は一切公表いたしません。

もし途中で協力したくなくなった場合には、その旨申し出て頂いた時点で実験は中止し、その時点までに取得したデータは全て破棄いたします。

本研究は軽量の計測装置を着けた状態でアイデアテストを行うだけですので危険はありませんが、緊張や疲労を感じるなどした場合には休憩をとりますので、申請して下さい。

実験をより良いものにするために、これから説明する4点のことを守ってください。

1. 実験中に発話しないでください
2. 椅子の背もたれに寄りかからず、自然な姿勢でアイデアテストを受けてください。実験中はリラックスしていただき都度相槌や頷きなどしていただいてもかまいませんが、足を大きく動かしたり、突然後ろを振り向いたりするような極端な行為はしないでください。
3. 実験中に計測装置に触ったりしないでください。
4. 携帯電話・スマートフォンなど、音の出る可能性のある危機は実験の間はこちらの箱に入れてください。

システム準備

ではヘッドフォンを装着していただきます。（除菌シートでヘッドフォンを拭いてから渡し、システムを起動させる、全声透過モード）私の声は聞こえるでしょうか？システムに慣れていただくため、このまま実験の説明をさせていただきます。

実験説明

この実験ではお題として提示した日用品の新たな使い方を思いつく限りリストアップしてもらい、こちらのA4用紙に記入していただきます。例えば「バケツ」というお題の場合には「水をためる」ことが通常の用途として考えられますが、「叩いて楽器として使う」「頭にかぶって日避けにする」なども考えられます。このように普通とは違う用途を思いついたらどんどん書き込んで行ってください。

（A 4用紙を分ける）紙が全て埋まったら次の紙に書いていってください。途中で私から、アイデアの出し方に対してのアドバイス等が入るかもしれませんが、アイデアだしを続けてください。一回のアイデアだしは3分間で行います。3分間のアイデアだしが終わった後、次のお題を私から言い、もう一度3分間のアイデアだしを行います。

練習施行

まずこの課題を理解していただくために練習施行を行っていただきます。

練習のお題は「椅子」です。一人が腰掛ける、背もたれがついた木の椅子です。普通に考えれば椅子は座るためのものですが、それ以外の椅子の使い方を考えてA4用紙にどんどん記入していきってください。では始めてください（ストップウォッチ計測開始）

- 0:30 誰が椅子を使うのかを考えると何か思いつくかもしれません
- 1:00 素材が木であることを考えると何か思いつくかもしれん
- 1:30 椅子の上にのぼる等も考えられますよね
- 2:00 何人でこの椅子を使うのかを考えると何か思いつくかもしれません
- 2:30 どんな場所で椅子を使うかを考えてみてはどうでしょうか？
- 3:00 終わってください

これで練習を終わります。

実験開始（1施行目）

ではこれから本番の実験に入ります。実験の様子を撮影するカメラを設置します。（カメラを起動する）

準備はよろしいでしょうか。では実験を開始いたします。

最初のお題は「ボールペン」です。キャップはついておらず、ノックで先が出るタイプのものです。通常と異なるボールペンの使い方を考えてA4用紙にどんどん記入していきってください。

では始めてください（システムが全閉モードになっているのを確認する、ストップウォッチ計測開始）

- 0:30 どんな使い方が考えられるでしょうか？例えば机の上ではないシチュエーションを考えてみるといいかもしれません

- 1:00 普通に使うなら何かを書くことが考えられますが、回したり何かを示したりすることも考えられますよね
- 1:30 むしろボールペンをただの棒と考えてみると何か思いつくかもしれません
- 2:00 誰が使うかを考えてみるといいアイデアが思いつくかもしれません
- 2:30 ボールペンを使ってどんな問題を解決できるでしょうか？
- 3:00 終わってください（システムが全開モードになっているのを確認する）

これで1回目の実験を終わります。いいアイデアは思いつきましたか？では続いて2回目の実験に行こうと思います。2回目のお題は「靴下」です。1ペアの黒い靴下をイメージしてください。通常と異なる靴下の使い方を考えて、A4用紙にどんどん記入していきましょう。

では始めてください。（システムが全閉モードになっているのを確認する、ストップウォッチ計測開始）

- 0:30 穴が開いてるのをどう使うか？を考えるといいアイデアが生まれるかもしれません。
- 1:00 素材が布であることを考えると面白いアイデアが思いつくかもしれません
- 1:30 キッチンで使ってみるとか？雨の日に使うとか？いろいろ考えられますよね
- 2:00 何か巻いてみるとか、どこかに詰めてみるとかも考えられそうです
- 2:30 使う人がどんな職業の人か考えてみるといいかもしれません
- 3:00 終わってください（システムが全開モードになっているのを確認する）

お疲れ様です。これで2回目の実験を終わります。ではA4用紙を回収します。

アンケート・確認テスト実施時

では最後に心理アンケートを配布します。（配布する）では回答をお願いします。（回答してもらう）回収する。

以上で実験は終了となります。

デブリーフィング

このあとに連続して実験を行わない場合

ご協力ありがとうございました。今回はシステムの有用性を測る目的で実験を行いました。なので私からは課題中にあえて、余計なアドバイスをしていません。

この時点で、本実験に協力しなくなったりした場合には、その旨を申し出ていただければ、今回取得したデータは全て破棄いたします。但し、収集したデータは匿名化をしますので、実験データ収集後はデータの破棄はできません。いかがでしょうか？

このあとに連続して実験を行なう場合

ご協力ありがとうございました。このあともう一度実験を行いますので、10分間休憩を挟もうと思います。